



県立高校入試でも出題され、英語配点の20%を占めるリスニング問題。自宅での学習法について、中学校の先生に聞きました。

基礎知識

県立高校入試でも出題され、英語配点の20%を占めるリスニング問題。自宅ではどう学習すればいいのだろうか。中学校の先生に聞いた。

リスニング学習はCDやプレーヤーがなければ始められないと思いがちだが、そうでもない。「家庭でのリスニング学習の基本は音読。発音できれば聞こえるようになる」と大分豊府中の橋迫知章教諭(31)。できることから始めるよう求める。



英語を聞いて理解するためには、発音やイントネーション、音のつながりや変化に慣れる必要がある。いきなり耳から聞くだけでは難しいが、英文を見ながら発音すると理解しやすくなる。

音声を手元にある場合は、ただ聞き流すのではなく、スクリプト(英文)を見ながら文字と音声を一致させていくのが効果的。CDの音声を重ねて音読したり、英文を見ずに音声をまねしていく「シャドーイング」などの方法がある。いずれも繰り返し練習することが大切だ。

試験問題では、話の筋をつかんだり、特定の情報を聞き取る力が試される。授業中、先生や友達の英語を漠然と聞くのではなく、どんな内容を聞き取りた

“リスニング学習の基本は音読”



リスニングの勉強法についてアドバイスする橋迫知章教諭(左)と丸田仁教諭=大分豊府中

いかを意識して耳を傾けることがトレーニングになる。

大分大付属中の丸田仁教諭(37)は「リスニング力が高い生徒ほど長文を読むスピードが速い」と感じている。「読む・聞く・書く・話す」の4技能はつながっており、リスニング力を付けることで、他の力も高められるという。

両教諭が勧める教材はNHKの基礎英語。中学生レベルの単語や文法が使われており、スクリプトもある。「習慣にするとすぐ力が付く」という。

苦手意識の強い人は、音楽や映画、動画、SNSなどでいろんなジャンルの英語に触れることから始めると、学習のきっかけづくりになるそうだ。



2020年4月18日付大分合同新聞 GXPRESS エデュケーション7面

①家庭でのリスニング学習で、基本とすべきことは？

基本は音読。英語を聞いて理解するためには、発音やイントネーション、音のつながりや変化に慣れる必要がある。

②音声を手元にある場合の効果的な学習法は？

ただ聞き流すのではなく、スクリプト(英文)を見ながら文字と音声を一致させていく。音声を重ねて音読したり、英文を見ずに音声をまねしていく「シャドーイング」などを繰り返し練習する。

③リスニング力を付けることで、高められる力は？

聞くだけでなく、読む・書く・話す力も高められる。